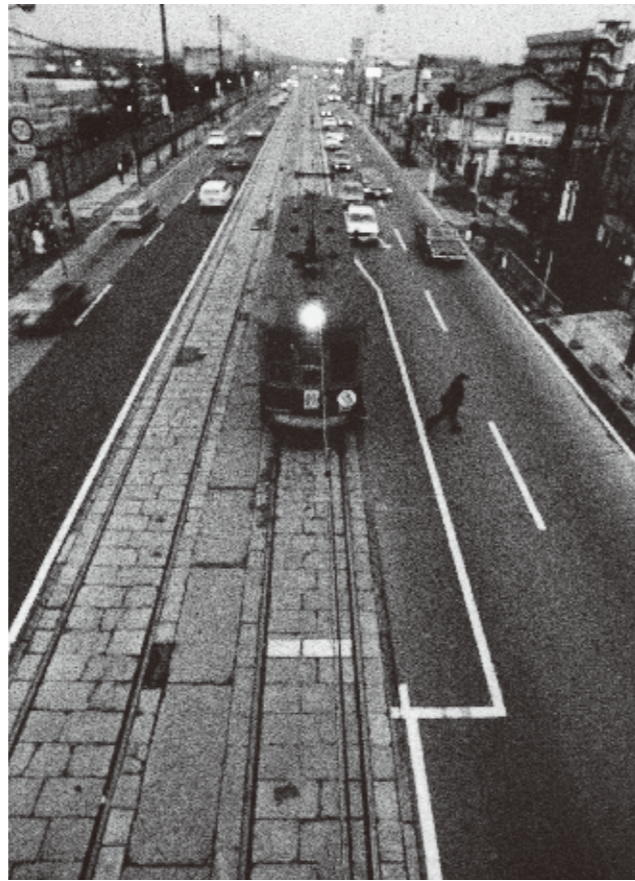


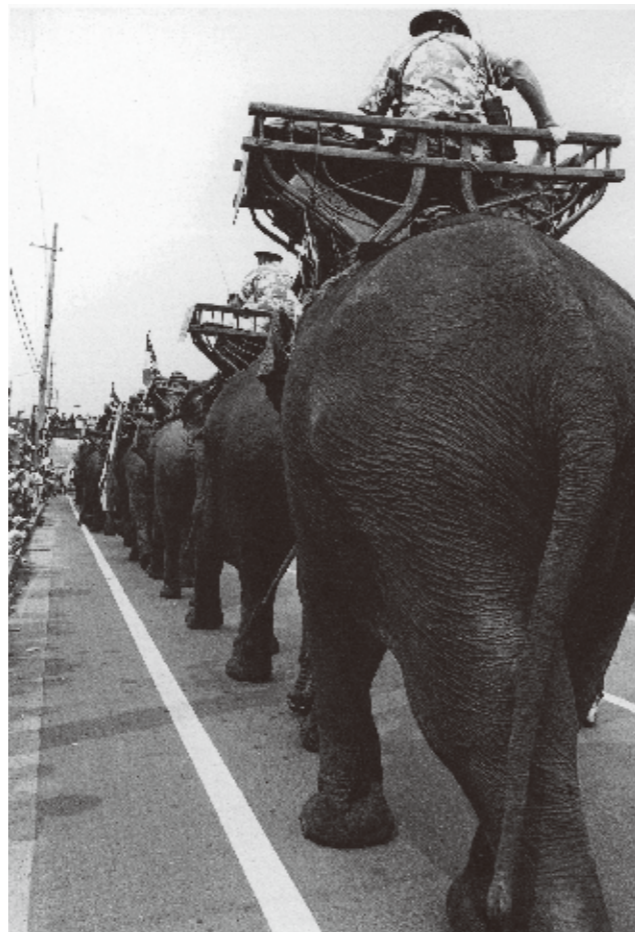
特色
3

わかりやすい解説や
身近な話題が満載！

▶さようなら国道電車 モータリゼーションの波に押され、阪神国道線の上甲子園～西灘間が廃止となったのは昭和49年のこと。そのラスト走行をとらえたひとコマで、左はアサヒビールの工場。区間廃止は続き、同50年には阪神の路面電車は全線廃止となった。〈津門大筒街～津門大塚町・昭和49年〉



◀学園花通り 阪急甲東園駅から上ヶ原地区を東西に結ぶ道。車がさほど通らない道路をのんびりと歩いていく人々。道のかなた、関西学院の向こうに甲山が見える。昭和30年代から、宅地造成によってこの辺りの景観は大きく変わっていった。〈上甲東園・昭和32年・提供＝西宮市情報公開課〉



特色
4

ご家族、ご近所、ご友人
みなさままで楽しめる！

▶象さんのパレード 大阪万博のタイ国ナショナルデーに出演するため、海を渡って神戸港へとやってきた象たち。国道2号を札場筋で左折、171号を行進して武庫川で一泊し、万博会場へと向かった。もの珍しい光景に、大勢の見物客が道沿いに押し寄せた。〈江上町～平松町・昭和45年〉

特色
1

懐かしいオリジナル写真
約600点を厳選収録！



◀新春の甲子園口商店街 戦前から、西宮市指折りのにぎわいを誇っていた甲子園口の、左は「センター街」入口。無数の商店が軒を連ねているのがわかる。店だけでなく、映画館が三つも建てられるなど、文化的にも町の中心であった。〈甲子園口・昭和47年・提供＝西宮市情報公開課〉

▶阪急西宮北口駅 大正9年、阪神急行電鉄神戸線（現・阪急電鉄神戸本線）の開通にともない開業した。その後、同15年に開業した今津線が神戸本線と西宮北口駅構内で平面交差するようになった。乗り継ぎには便利だったもののこじんまりとしていたこの駅一帯が、やがて震災後の再開発を経て文化、商業センターに変貌してゆく。〈高松町・昭和43年・提供＝西宮市情報公開課〉



特色
2

胸が熱くなる思い出の
情景がよみがえる！



◀浜甲子園団地、朝のバス停 鉄筋コンクリートのアパートが建ち並ぶ浜甲子園団地。出勤する人々が、団地循環線のバスに次々と乗り込んでいく。この辺りは、戦時中は海軍の飛行場として、戦後は米軍キャンプの地として利用されてきた。〈浜甲子園・昭和30年代・提供＝西宮市情報公開課〉

▶甲子園春の選抜大会 昭和32年に開催された、第29回選抜高等学校野球大会での一枚。凛々しい表情で並ぶのは、選手ではなくこの大会のために雇われた小さなボールボーイたちである。この日は決勝戦で、対戦カードは早稲田実業高校VS高知商業高校。王貞治が完投勝利を成し遂げ、関東に初の選抜優勝をもたらした。〈甲子園町・昭和32年〉

